

## 佐賀市では、「蚊の幼虫」を駆除しています

佐賀市はクリーク等が多く、蚊の生息に適した環境となっています。

市は、昭和60年度まで成虫の駆除をしていましたが、昭和61年度からは、より駆除効果の高い、幼虫（ボウフラ）駆除に切り替え、実施しています。



## 夜間活動する「アカイエカ」の対策

夜に人を刺す蚊の種類は、主に『アカイエカ』です。

アカイエカは、昔から佐賀平野において、クリークや水路で幼虫が成長し、成虫になって主に夜、人を刺します。



### 対策

佐賀市では、4月から10月にかけて長崎自動車道以南のクリークや水路で幼虫（ボウフラ）の調査・駆除を行い、アカイエカが増えないよう努めています。



令和2年度に調査したクリークや水路の数は約1,700か所です。

薬剤は、魚や他の昆虫に害が少ない成長制御剤や脱皮阻害剤を用います。  
成虫になる事ができず、幼虫やサナギのまま死滅します。

## 昼間活動する「ヒトスジシマカ」の対策

昼に人を刺す蚊はヤブ蚊と呼ばれる『ヒトスジシマカ』で、草木が繁茂した場所で多く見られます。

ヤブ蚊は、家の周りの「境界ブロックの穴」や「タメマス」「植木鉢の受け皿」等の小さなたまり水で孵化し、成虫になって主に昼、人を刺します。



### 対策

佐賀市は、ヤブ蚊を増やさない方法として、家の周りのブロックの穴等のたまり水をなくすよう呼びかけています。

## ユスリカ 対策

ユスリカ



家の壁にはりつき、集団で蚊柱となって飛び回る、一見蚊に見える虫がいます。それが『ユスリカ』です。ユスリカは「ハエ」の仲間で、人を刺しません。

### 対策

ユスリカを増やさない方法（側溝やタメマスの清掃、川の清掃）をアドバイスしています。